



GIFU PHYSICAL THERAPY ASSOCIATION NEWS

らいちよう

No. **150**

2024.8.26 発行

(公社) 岐阜県理学療法士会 広報誌 <https://gifu-pt.jp/>

皆さまにお会いできることを
楽しみにしております



第40回東海北陸理学療法学会in岐阜 9月7・8日

目次

巻頭言…………… 2～3

学会評議員会より…………… 4

活動報告…………… 5～7

セミナーの案内…………… 8

会員の声…………… 9

学会大会プログラム…………… 10～11

第34回

岐阜県理学療法学会学術集会を終えて

第34回岐阜県理学療法学会学術集会

準備委員長 **田立 充広**
(高山赤十字病院)

令和6年6月16日(日)第34回岐阜県理学療法学会学術集会を、高山市の飛騨・世界生活文化センターにて開催いたしました。学会テーマを「トリプル改定と理学療法のこれから」とし、学会長桐山伸也とともに、この度、準備委員長として携わせていただきました。

本学術集会の開催は、様々な方々の多大なる協力により、遂行することができました。

岐阜県、高山市、高山市医師会、岐阜県看護協会、岐阜県介護福祉士会、岐阜県作業療法士会、岐阜県言語聴覚士会からの後援を頂戴し、松本義肢製作所様、であい工房様、平成医療短期大学様、中部学院大学様に企業出展のご協力をいただきました。また当日は、高山市長と言語聴覚士会代表にご臨席いただき、市長からは挨拶もいただくことができました。

当日の運営スタッフには、任意のボランティアの募集にもかかわらず、多数の飛騨地域の理学療法士が応募してくれました。リーダーを任命した方々も、快く引き受けてくださり、事前準備までもお手伝いしていただきました。当日は、40名以上ものスタッフが集まってくれました。飛騨地域の底力を感じることができました。

特別講演では、(株)メディアクリエイトの石井富美先生に講演いただきました。トリプル改定と理学療法士の方向性について、わかりやすく話してくださいました。特別シンポジウムでは、能登半島地震の支援活動についての報告と、これからの取り組みや考え方について、非常に有意義なお話を聞くことができました。

一般演題36題、シンポジウムと演題を登録していただいた方々、また、査読を協力いただいた認定理学療法士の先生方や、座長を引き受けてくださった先生方、そして参加してくださった皆様、このような遠方に足を運んでくださり、本当にありがとうございました。約220名の参加者に恵まれ、活気ある会を行うことができました。

ちょうど私たちが準備にとりかかった時期は、コロナの扱いが変わりゆくまさにその時でありました。世の中のいろいろなことがコロナへの対応から、徐々に解禁されていく時と重なったので、迷うこと混乱することも多々ありましたが、最終的に今回のような開催形式となりました。

私自身も、今まで何度か、運営を経験したことがありましたが、それらの経験はまったく無意味に思えるほどに、システムはすっかり近代化・電子化していました。事前参加登録、演題登録システム、抄録の電子化、ホームページの作成、ポスター業者、当日受付のシステムやポイントの配布、SNS戦略など、とにかくすべてがわからないことばかりでした。それらの多くを、運営スタッフそ

れぞれが得意とするスペックをお借りして、時には学んでもらいながら、なんとかここまで形作ることができました。

ポスターやSNSでは、飛騨地域の象徴である‘さるぼぼ’をベースにしたキャラクターを作成し使用しました。その際‘さるぼぼ’には商標登録があるため、特許庁から商標管理者である飛騨のさるぼぼ製造協同組合という経路で、使用許諾を受けました。もちろん初めての経験です。商標管理者は、地域で行われる行事に対して使用を快諾してくださり、さらには学術集会が成功するように応援までしていただきました。

準備委員は1年前から発足し、学会の立案、テーマや講演の決定、会場の選択や交渉、プログラムの構成やシンポジウムの計画、広報活動、後援依頼などを行ってきました。委員の皆様には、日々の業務に並行して、非常に多くの負担を課すものとなりましたが、皆が責任をもって最後の最後まで成し遂げてくれました。

その他にも、職場、会場、地域の皆様など、非常に多くの方々の協力がありました。それらすべてをもって、会を完遂することができたと思います。

大変なこともありましたが、このような形で関われる機会もそうあるものではないと思います。私自身、非常に貴重な経験をさせていただきました。この経験と感謝の気持ちを、これからの自身の日々にも大いに反映していけたらと思います。

この場を借りて、すべての関係者様に心より感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

また、小林先生はじめとする次回当番の先生方には、申し送りのため再度高山に足を運んでいただくことになりました。お手数おかけしますが、よろしくお願いいたします。来年度の学術集会の成功を祈って、締めとさせていただきます。



学会



評議員会より

第34回岐阜県理学療法学会学術集会にて、
優秀演題の表彰式を執り行いました



奨励賞

久世 洋嗣先生

(岐阜ハートセンター)

TAVI術後患者における歩行速度と6分間歩行
距離の予後予測能の比較

令和6年6月16日開催の第34回岐阜県理学療法学会学術集会(飛騨・世界生活文化センター)の閉会式にて、最優秀賞1名、奨励賞2名の表彰式が執り行われました。

選出方法は、抄録の査読結果より表彰対象者を6名選出し、当日の開会式直後のセレクション演題セッションの発表内容にて、最優秀賞1名、奨励賞2名が選出されます。以下に受賞者をご紹介します。

最優秀賞

穂積 ひかり先生

(中部国際医療センター)

機能的電気刺激と調整機能付き後方平板支柱型短下肢装具の支柱変更が奏功した脳卒中片麻痺症例

～遊脚期膝関節屈曲およびクリアランス低下に着目して～



写真左から 桐山学会長、久世先生、穂積先生、菅沼先生、河合副会長

受賞者の皆様、誠におめでとうございます。皆様の今後の益々のご活躍をお祈りいたします。

なお、受賞された皆様の発表は、論文として岐阜県理学療法士会学術誌第29号に掲載予定です。

本会の学術向上のため、今後も皆様の活発な演題発表、学術誌への寄稿をお願い申し上げます。

奨励賞

菅沼 惇一先生

(中部学院大学)

足関節位置覚の精度評価：

単軸不安定板を用いた測定方法の再現性

学会評議員長 三川 浩太郎

令和6年度（公社）岐阜県理学療法士会主催



県民公開講座



- テーマ** 仮想現実 (Virtual Reality) 技術を用いたリハビリテーション医療機器「mediVRカグラ」とこれからのリハビリテーション医療の可能性
- 講師** 森 憲司 先生 (岩砂病院・岩砂マタニティ リハビリテーション科 部長)
- 会場** 岐阜県図書館 多目的ホール (岐阜市宇佐4-2-1)
- 時間** 10:30~13:30

令和6年5月19日(日)に、岐阜県理学療法士会主催県民公開講座「仮想現実 (Virtual Reality) 技術を用いたリハビリテーション医療機器「mediVRカグラ」とこれからのリハビリテーション医療の可能性」と題し、岩砂病院・岩砂マタニティの森 憲司 先生をお招きしてご講演いただきました。

当日は約70名の一般および医療・福祉の専門職の方々にご参加いただきました。

公開講座では、脳卒中の症状を画像と合わせ、具体例を交えてわかりやすくご説明いただき、治療介入の難しいイメージのある脳卒中に対するリハビリテーションに関して学ぶことが出来ました。

実際に「mediVRカグラ」を使用されている場面の映像を通して、臨床場面を具体的にイメージすることができたのではないかと思います。

質疑応答の時間には、理学療法士等の専門職の方々から多くの質問があり、森先生の丁寧なご回答を受けて、私自身もより「mediVRカグラ」に関心を持ちました。

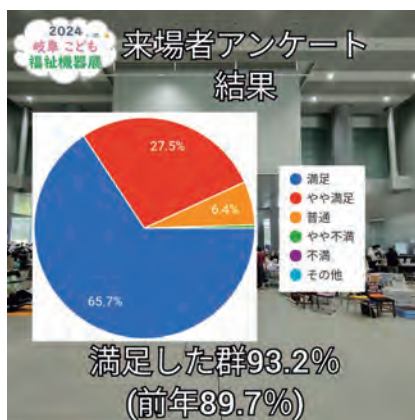
今回初めて「mediVRカグラ」の存在を知りましたが、体験ブースでの体験場面を通して、仮想空間を利用することで、安全面に考慮され、障害の重症度に左右されることなく、ゲーム感覚でリハビリテーションを行えるということに脳卒中リハビリテーション医療の可能性を感じました。



今回、ご講演くださった森先生、座長の久保田先生、体験ブースを担当いただいた(株)mediVRの森様、また、公開講座にご参加くださった皆様には心から感謝申し上げます。今後も岐阜県内の理学療法・リハビリテーションの発展に努めてまいりたいと思いますので、皆様のご参加をお待ちしております。

学術局 研修部部員
岐阜清流病院 若井莉紗

2024 岐阜こども福祉機器展



6月1-2日に多治見市のセラミックパークMINOにおいて、第13回目の岐阜こども福祉機器展を開催いたしました。

開催データでは、出展社数65社で過去最多、来場者数1932人で過去最多、来場者アンケートで満足した群93.2%と満足度過去最高の充実したこども福祉機器展となりました。

今回の開催では、保護者様メーカーの出展が多く、ニーズに直結したアイテムの充実が満足につながったと考察しました。
今後も保護者様・メーカー様・セラピストで力を合わせて、こどもまんなかの福祉機器展を発展させていきたいと思えます。

こども福祉部は、小児理学療法を必要とするこどもたちの利益の増進に寄与するために、引き続きチャレンジを続けます。

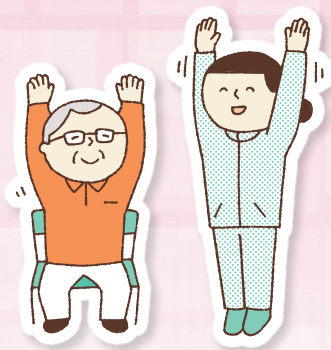


文責：三浦 大介

東濃支部

6/2 開催

健幸フェスタ in えな (恵那市)



令和6年6月2日、恵那市のまきがね公園にて**健幸フェスタinえな**が開催されました。握力テスト、立ち上がりテスト、TMTテストを実施し、個別での運動指導や生活相談も行いました。握力テストでは、年齢別平均値を掲示した為、平均値を超えたか超えてないかで、ご家族、友人等と競い合うなど大盛り上がりでした。身近な握力ですが、実際に測定する機会が少ない為、多くの方に来場して頂けました。立ち上がりテストでも、自身のイメージ通りに立てない方も多く、諦めず何度も試す方もみえました。TMTテストでは、基準値より大幅に早い方、遅い方様々でした。このような検査に触れる機会が少ない為か、とても積極的に楽しみながら行う方が多かったです。参加された方は150名ほどでした。手のしびれのある方の個別運動指導なども行いました。このイベントには数年参加している為、昨年の記録と比較する方も多くみられました。今後も理学療法士という職業をより知っていただくため、イベントを通して啓蒙活動を行っていきます。

公益社団法人岐阜県理学療法士会 東濃支部 堀江正彦

岐阜県理学
療法士会
SNS



ホームページ



X(旧Twitter)



Facebook

研修会の情報は
こちらからどうぞ!

公益社団法人 岐阜県理学療法士会

岐阜県理学療法士会



〒500-8384 岐阜県岐阜市数田南1-11-12
岐阜県水産会館4B-4号室
TEL・FAX 058-277-6166

全3回で“研究方法”に関するセミナーを企画します！

第1回 2024年9月21日－22日 (※6/20～申込可)

セミナー番号：127695

「臨床現場で活用できる症例研究の基礎」

カリキュラムコード：45 エビデンス（根拠）に基づく理学療法

講師：井上優（吉備国際大学）、尾藤貴宣（岐阜大学医学部附属病院）、北野貴之（浜松医療センター）

▷定量的なデータ指標を活用した臨床判断や基本的な知識や手法（データ測定や解釈方法）について学びます。

(@平成医療短期大学)

第2回 2024年10月19日－20日 (※7/20～申込可)

セミナー番号：127720

「研究法&統計セミナー ～研究デザインから統計処理まで～」

カリキュラムコード：47 統計学

講師：澤村彰吾（平成医療短期大学）

▷研究デザインから統計処理まで幅広く学びます。データ処理演習では統計ソフトEZRを用いて基本的な単変量解析から多変量解析まで実践します。

(@平成医療短期大学)

第3回 2024年12月7日 (※9/20～申込可)

セミナー番号：127743

「シングルケースデザイン、症例報告の実践方法」

カリキュラムコード：48 研究法

講師：安藤貴洋（岐阜大学医学部附属病院）、河島旭（多治見市民病院）

▷シングルケースデザインの基礎や解析方法、症例報告の実践方法について学びます。

(@平成医療短期大学)

※演習やグループワークを多く取り入れたハンズオンセミナーです

研究初学者から経験者まで幅広く学べる内容です！

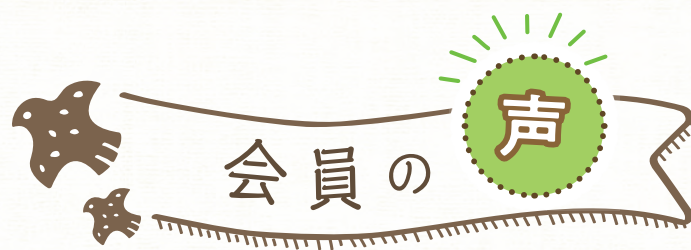
研究を始めてみたい、最新の知見を知りたいという方は是非ご参加ください！

受講費：JPTA会員 無料 / 会員外 各回10,000円

会員：協会HP「マイページ」からセミナー毎にお申し込みください

会員外：下記【問い合わせ先】のメールアドレス宛にお申し込み下さい

【問い合わせ先】教育部：澤村彰吾 E-mail：gifu.pt.kyoiukubu1@gmail.com



理学療法士の魅力

岐阜保健大学
リハビリテーション学部 理学療法学科
鈴木 啓介

私は理学療法士という職業が大好きです。楽しくて楽しくて理学療法の沼にハマリ15年以上が経ちます。その思いは色褪せることなく、臨床に教育に充実した日々を送っています。

数年前に理学療法士の魅力を存分に感じる出来事がありました。それは理学療法を受ける当事者になったことです。とは言いつつも私ではなく、私の父が脳出血を患ったことがきっかけです。理学療法士として多くの患者さんやご家族と接してきましたが、いざ当事者となると、全く異なる感情が湧いてくることを実感しました。父が脳出血で救急搬送された後、担当医から告げられた言葉が心に突き刺さり昨日のように思い出されます。

「鈴木さん。お父様ですが命に別状はありません。ただし出血量が多く、現時点では右半身は動かない状態です。これからリハビリを始めますが、手足が動くようになるか、また歩けるようになるかは今後のリハビリ次第です。」

とても衝撃的でした。幾度となく医療提供側として経験してきたことですが、実際に自分の父親が今後動けるようになるかどうか、家に帰れるかどうかは全てリハビリテーションにかかっているというリアルを突き付けられたわけです。このインフォームドコンセントを受け、当事者として大きな不安に包まれる中で、リハビリテーションは一筋の光のような尊い存在なのだと思えて気付かされました。その後、幸いにも素晴らしい理学療法士の先生をはじめ、医療関係者のサポートを受け、みるみる身体機能は回復していきました。また、面会の度に理学療法士の先生から現在の状態について丁寧に説明を受け、今後のプランニングについてお話しできたことで不安感から安心感へと気持ちに変化することを実感しました。最終的に父のADLは監視レベルまで回復し、在宅改修や各種サービスの申請も終え、家族の受け入れ体制が整った状態で在宅復帰することができました。

私は今回の経験を通じて本当の意味での理学療法士の魅力に気付くことができたと思っています。理学療法士が担う役割は機能や動作を治療するだけではなく、その後の患者さんや家族の人生を変える、まさに「人生のデザイナー」としての役割もあるのだと思います。これからも理学療法士の魅力を存分に噛みしめながら、臨床と教育に邁進していきたいと思っています。



40th 東海北陸理学療法学会大会

プログラム・日程表

大会長基調講演

9月7日(土)10時30分～10時50分：第1会場2Fホール

空の青さを知る

司会：小澤 純一(福井県立病院)
演者：舟木 一夫(第40回東海北陸理学療法学会大会 大会長/羽島市民病院)

特別講演

9月7日(土)11時00分～12時00分：第1会場2Fホール

井の中の蛙大海を知らず、 されど空の青さ深さを知る、そして未来は明るい

司会：村雲 憲(東可児病院)
演者：斉藤 秀之(公益社団法人日本理学療法士協会 会長)

シンポジウム1

9月7日(土)13時30分～15時00分：第1会場2Fホール

理学療法士の魅力・やりがい応援シンポジウム

司会：舟木 一夫
(第40回東海北陸理学療法学会大会 大会長/羽島市民病院)

●その先にあるもの

シンポジスト：福井 勉(文京学院大学 学長)

●街づくりの視点で広がる理学療法士のキャリアビジョン ～広義でのリハビリテーションマネジメントの実践課程とキャリアアップ～

シンポジスト：松井 一人(株式会社ほっとリハビリシステムズ 代表取締役)

●対話でつくる、組織を元気にする場づくり

シンポジスト：浦山 絵里
(ひとづくり工房esuco代表 看護師 ナースファシリテーター/生涯学習財団認定ワークショップデザイナー)

シンポジウム2

9月7日(土)15時10分～16時40分：第1会場2Fホール

サルコペニア・フレイルを多様な視点で考える ～運動器・中枢・内部のそれぞれの立場から～

司会：三川浩太郎(中部学院大学)

●脳卒中におけるサルコペニア・フレイルの評価と理学療法の展開

シンポジスト：野添 匡史(関西医科大学 准教授)

●呼吸器疾患におけるサルコペニアとフレイルの現状と対策、そして課題

シンポジスト：辻村 康彦
(平松内科・呼吸器内科小牧ぜんそく睡眠リハビリクリニック)

●高齢期におけるサルコペニア・フレイル予防を運動器疼痛対策の視点で考える

シンポジスト：平瀬 達哉
(神奈川県立保健福祉大学保健福祉学部リハビリテーション学科理学療法学専攻 准教授)

シンポジウム3

9月7日(土)10時30分～12時00分：第2会場5F大会議室

理学療法士としてのキャリアデザイン ～様々な現場で活躍する理学療法士～

司会：大町かおり(長野保健医療大学)

●学校スポーツトレーナーが活動する意義～豊橋市での学校スポーツトレーナーの活動報告と未来～

シンポジスト：神谷 秀明
(株式会社PerformanceReha 代表取締役)

●企業の中での理学療法士～福祉用具メーカーにおける理学療法士の役割～

シンポジスト：小池 清貴
(パラマウントベッド株式会社営業統括部クリニックケアチーム シニアエキスパート)

●理学療法士の産業保健分野における活動の実際 -国民も自身も70歳まで健康で安全に働くことを目指して-

シンポジスト：木村 圭佑
(公益財団法人豊田地域医療センターリハビリテーションセンター主任/日本産業理学療法研究会 理事)

教育セミナー1

9月7日(土)13時30分～14時30分：第2会場5F大会議室

半球間相互作用の神経可塑性に着目したリハビリテーション戦略



会期

2024年9月7日(土)・8日(日)

会場

じゅうろくプラザ(岐阜市文化産業交流センター)

司会：菅沼 惇一(中部学院大学)
演者：中野 英樹
(京都橘大学大学院健康科学研究科 准教授/情報通信研究機構
脳情報通信融合研究センター特別研究員)

教育セミナー2

9月7日(土)15時50分～16時50分：第2会場5F大会議室

高齢社会における理学療法士としての役割と魅力の再考

司会：小林 弘明(岐阜県総合医療センター)
演者：牧迫飛雄馬
(鹿児島大学医学部保健学科学療法学専攻基礎理学療法学講座 教授)

教育セミナー3

9月8日(日)9時50分～10時50分：第1会場2Fホール

歩行機能獲得のためのバイオメカニクス治療アプローチ

司会：久保田将成(岩砂病院・岩砂マタニティ)
演者：石井慎一郎(国際医療福祉大学大学院福祉支援工学分野 教授)

教育セミナー4

9月8日(日)11時00分～12時00分：第1会場2Fホール

井の枠を越えて：循環器理学療法の新たな挑戦

司会：西中川 剛(中部学院大学)
演者：加藤 倫卓(常葉大学健康科学部静岡理学療法学科 教授)

教育セミナー5

9月8日(日)13時30分～14時30分：第1会場2Fホール

結果を出せるストレッチング処方をするためのエトセトラ

司会：植木 努(平成医療短期大学)
演者：中村 雅俊(西九州大学リハビリテーション学部理学療法専攻 准教授)

教育セミナー6

9月8日(日)9時50分～10時50分：第2会場5F大会議室

人工呼吸器管理患者に対する呼吸理学療法

司会：河合 克尚(平成医療短期大学)
演者：鶴澤 吉宏(亀田総合病院リハビリテーション事業管理部 副部長)

教育セミナー7

9月8日(日)13時30分～14時30分：第2会場5F大会議室

個性を理解し仕事を通して育成するマネジメント

司会：岩島 隆(岐阜保健大学)
演者：松山 太士
(社会医療法人財団新和会八千代病院総合リハビリセンター 技師長)

モーニングセミナー1

9月7日(土)9時00分～9時40分：第1会場2Fホール

エビデンスはどのように読み解き、臨床実践・社会実装へとつなげるのか
～疫学を理解して理学療法・公衆衛生実践へ活かす～

司会：野口 雅弘(北陸大学)
演者：田島 敬之(東京都立大学健康福祉学部理学療法学科 准教授)

モーニングセミナー2

9月7日(土)9時00分～9時40分：第2会場5F大会議室

バラスポーツの青さを知りレガシーを伝える
～バラスポーツの楽しさを後進へ～

司会：吉田 尚起(美濃市立美濃病院)
演者：伊神 和史
(日本バラスポーツ協会指導者協議会中部東海ブロックトレーナー部
会 岐阜県代表委員/岐阜県競技力対策本部 医療部門委員/日本ス
ポーツ協会アスレティックトレーナー岐阜県連絡協議会 副会長)

モーニングセミナー3

9月8日(日)9時00分～9時40分：第1会場2Fホール

ChatGPTの使い方～基本的な機能から応用例まで～

司会：田島 嘉人(平成医療短期大学)
演者：澤村 彰吾
(平成医療短期大学リハビリテーション学科理学療法専攻 講師)

モーニングセミナー4

9月8日(日)9時00分～9時40分：第2会場5F大会議室

福祉用具の効果的な活用方法と重度化を予防する技術
～ポジショニング・シーティング・移乗から考える～

司会：北村 弘幸(ほそばたクリニック)
演者：二井 俊行(愛知厚生連海南病院通所リハビリテーションきらら所長)

